

競技注意事項

- 1, 規則 本大会は、2026 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。
- 2, 練習 トラックの外側の指定した場所を使用する。
フィールド種目の練習は、競技開始 30 分前からフィールドで係員の指示により実施することができる。
- 3, 招集 ①競技順序記載の招集時間までに招集を行い、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、アスリートビブスの確認を行う。
②招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなす。
③トラック、フィールドへの入場は係員の指示に従うこと。
④招集時刻は各競技開始時刻を基準とし下記の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻	集合時間
トラック (リレーを除く)	40 分前	20 分前	10 分前現地
走高跳・走幅跳・砲丸投	50 分前	30 分前	30 分前現地

- ⑤競技中に他の出場種目と招集時間が重なる場合は、事前に招集所役員に申し出て、本人がコール用紙に自分で○をつける。
- 4, アスリートビブス (ナンバーカード)
- ①2 枚を胸背部にしっかりと付けること。ただし跳躍種目は、いずれか 1 枚でもよい。
②トラック競技の腰ナンバーについては各校で用意し、右腰真横に着用する。
- 5, スタート スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1 回目の不正スタートで失格とする。

6, 予選通過及び決勝について

- トラック 全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。決勝に進む人数を超えた場合は、同記録者の 1 / 1000 秒を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は、100m・200m・ハードルは抽選とする。
決勝のレーンについては順は TR20.4.3~20.4.5 を適用する。
- フィールド 走幅跳・砲丸投は 3 回の試技で上位 8 名を選出し、その後 3 回の試技を行う。
走高跳は、連続する 3 回の失敗試技で競技終了とする。

7, 走高跳のバーの上げ方

- 走高跳 男子：1m20. 1m25. 1m30. 1m35. 1m40. 1m45. 1m50. 1m55. (以後 3cm おき)
女子：1m10. 1m15. 1m20. 1m25. 1m30. 1m35. 1m40. 1m45 (以後 3cm おき)

- 8, リレー競技 ①オーダー用紙を競技者係に提出する。提出締切時刻は、予選は 8:15、決勝は 12:30 までとする。
②競技者はユニフォームを同系統で揃えること。ランニングパンツやスパッツの別は問わないものとする。

9, 表彰

- ①各種目 3 位までに賞状を授与する。
②学校対抗は、男子総合・女子総合・男女総合に各 8 位まで賞状を授与する。

各競技 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、… 8 位 1 点と、学校ごとに合計する。
ただし、同点の場合は上位入賞者の数を優先する。

10, その他

- ①800m のスタートについては 1 レーンに 1 ～ 2 名入れてセパレートレーンで行う。
- ②スパイクシューズのピンは、トラック 9mm 以下、走高跳は 12mm 以下とする。
- ③競技用靴については、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び（国内）競技用靴に関する主要規則を適用する。ただし、砲丸投については適用除外とする。
- ④予選棄権により 8 名以下になった場合、番組編成で再編成し決勝とする。
- ⑤各校のきまりに準じた服装で参加をすること。
- ⑥更衣室での更衣終了後は速やかに交代すること。貴重品・持ち物の盗難防止に努めること。
- ⑦競技場内において不測の事態が起きたときは直ちに本部に連絡すること。
- ⑧不入斗競技場の使用上の注意に従い、使用上の注意を守ること。
特にスタンドからトラックへの出入りは階段を使用し、柵を乗り越えてはならない。
- ⑨本部は競技中の事故について応急処置はするが、その後の責任は負わない。
- ⑩競技場内の自動販売機を使用する場合は顧問が立ち会うこと。